

29 【鶴岡市立荘内病院】

住 所	〒997-8515 山形県鶴岡市泉町 4-20		病床数：521床
診療科目	内科、精神科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、漢方内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、病理科		
研修責任者名	五十嵐 裕一（副院長）	連絡先：rinken@shonai-hos.jp 0235-26-5111（代表）	連絡先担当者名：池野 文香（総務課）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：1人、24年度：1人、25年度：0人、26年度：1人、27年度：1人、28年度：0人、29年度：0人、30年度：0人、令和元年度：0人、2年度：0人、3年度：0人、4年度：0人 ・その他プログラム採用 平成23年度：2人、24年度：2人、25年度：2人、26年度：5人、27年度：1人、28年度：5人、29年度：1人、30年度：3人、令和元年度：4人、2年度：4人、3年度：3人、4年度：4人		
研修受け入れ可能診療科※		学会認定専門医数	学会認定指導医数
必修：内科（内科、神経内科、消化器科、循環器科）、外科（外科、小児外科）、小児科、産婦人科 選択研修：整形外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、放射線科		内科2人、神経内科2人、消化器科2人、循環器科4人、外科5人、小児科6人、産婦人科3人、整形外科5人、脳神経外科1人、小児外科2人、泌尿器科2人、眼科1人、放射線科2人	内科2人、神経内科1人、循環器科2人、外科3人、小児科4人、産婦人科3人、整形外科1人、小児外科2人、泌尿器科1人、放射線科2人
施設の概説・特徴			
新潟県に隣接する庄内平野の南域、151,000人医療圏における急性期医療の中核を担う基幹病院。平成15年に移転し、平成25年には創立100周年を迎えた。屋上ヘリポート等を備える災害拠点病院で、近年では地域医療支援病院、県地域周産期母子医療センター、県がん診療連携指定病院に指定されている。豊富な症例を通して幅広く知識・技能を修得できるだけでなく、地域社会への密接な関わりを感じながら、地域急性期医療の重責を担う自覚を育むことができる病院である。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
内科：内科は、腎疾患、膠原病、糖尿病を中心に、その他、感染症などを含む総合的な診療分野を担当している。神経内科は、脳、脊髄、筋肉、末梢神経などに病気がある患者さんについて、その原因が何かを考えて治療する。神経内科疾患全般の他に脳卒中の経験も積める。循環器科は、狭心症、心筋梗塞、心臓弁膜症、心筋症、不整脈、高血圧、末梢血管の閉塞性疾患などの心血管疾患を対象に診療している。カテーテル治療（冠動脈形成術・高周波焼灼術など）やペースメーカー植込みなどの小手術も行う。 外科◆：食道から直腸・肛門までの消化管と、肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓や乳腺・甲状腺などの疾患に対して、主として手術を中心とした治療を行う科であるが、抗がん剤を用いた化学療法なども積極的に導入し、精神面のケアを含む緩和医療の充実にも力を注いでいる。 小児科：一般小児科入院医療、小児救急、新生児医療の3本立てで診療し、チーム医療を大切にしている。毎日当直をして、午後9時までの小児救急とNICU業務を担当している。 産婦人科：合併症・リスクのある妊娠出産例や婦人科悪性腫瘍など地域の基幹病院（周産期母子医療センター併設）として幅広い産婦人科疾患に対応している。日本産婦人科内視鏡学会認定研修施設として腹腔鏡下手術を数多く行っている。 整形外科：乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象とし、また、対象疾患もきわめて多岐にわたる。骨折・脱臼などの外傷はもちろんのこと、関節や手などの専門性の高い疾患の多くを経験する。 脳神経外科：脳卒中をはじめとした急性期医療が中心である。脳卒中を研鑽したい若い医師には良い病院である。 小児外科◆：新生児から中学生までの患児を治療する。手術内容も、新生児手術から代表的疾患である先天性胆道拡張症、ヒルシュスプルング病等様々な症例が経験できる。また、腹腔鏡手術も積極的に取り入れている。 泌尿器科：外来では腹部超音波検査、膀胱鏡検査など、入院では膀胱癌、前立腺肥大症の経尿道的手術、体外衝撃波結石破砕術、膀胱全摘術などを行っている。 眼科：常勤3名、嘱託医1名で日々の診療を行い、月曜日午後、火曜日終日、水曜日午後で予定手術を行い、緊急手術はその都度対応している。水晶体再建術は年間500件ほど、硝子体手術は年間120件ほどの症例数である。基本的には紹介状の患者さんを診る形であるため、難症例の白内障や網膜剥離、硝子体出血など様々な症例を経験することができる。 放射線科：CT・MRIの画像診断、核医学検査、肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法（TACE）及び骨盤骨折や臓器損傷に対する緊急TAE等の画像下治療(IVR)、放射線治療を行っている。			
研修の概説と特徴			
臨床医に求められる初期治療・救急医療、プライマリ・ケアの基本的診療能力（態度、技能、知識）の修得をはじめ、高度・多様化する医療と社会的必要性に対応できる医師の養成を目指す。広大な圏域の唯一の基幹病院であり、プライマリ・ケアから多岐にわたる救急、がん診療まで豊富な症例を有し、疾患内容も広範であることから幅広い臨床研修ができる。研修医主導でローテーションが組めて、規模に対して研修医を少数にしているため、他の研修医との重複も少なく、多くの手技経験を積むことができる。			
研修医の当直			
1年次は、診療科の担当指導医の日直などで補佐を行う。2年次は、月5回程度宿日直研修を行う。医療圏の急性期・重症患者が集まる地域の中核病院として、年間約19,700人の救急患者、年間約3,700件の救急車受入がある。			
処 遇			
●給与：1年次（月額基本給）338,400円（諸手当）地域手当54,144円、診療手当10,000円、研究手当30,000円 2年次（月額基本給）344,200円（諸手当）地域手当55,072円、診療手当20,000円、研究手当50,000円 ほか、時間外勤務手当、宿日直手当、通勤手当など。年間給与見込額 1年次710万円、2年次960万円。 ●食事：院内コンビニエンスストア（7:00～21:00）があるほか、弁当注文（食堂、院外）ができる。職員食堂は現在閉鎖中。 ●宿舎：医師公舎あり（集合住宅形式40戸、戸建て形式4戸）自身で準備の場合は住居手当あり（上限 月27,000円） ●居室：研修医室あり（医局に隣接）図書、雑誌のほかUpToDate等の利用、専門業者への文献複写依頼が可能。 ●インターネット環境：各自の専用機からインターネット接続が可能。			

※「必修」で掲載されている診療科は、「選択研修」でも研修可能です。

◆令和6年度当院での外科（必修）担当科の1つであり、研修の際は、基本的な外科手技と全身麻酔手術時の周術期全身管理能力を修得する。